

## 日誌 (昭和33年5月)

## 【国内】

- 1日 ○政府、輸入担保率引下げ、および輸入保証金の本行への再預託廃止
- 10日 ○本行、英ポンド表示外国為替引当貸付の利率引下げ (日歩1銭4厘を1銭3厘5毛へ)  
○本行、ベルギー・フラン表示期限付輸出手形に対して外国為替引当貸付制度を実施 (日歩9厘)
- 14日 ○政府、スウェーデンとの貿易に関する議定書に調印
- 15日 ○政府、外国為替および外国貿易管理法を一部改正
- 16日 ○日本・モロッコ貿易協定調印
- 17日 ○本行、スウェーデン・クローナ表示外国為替引当貸付の利率引下げ (日歩1銭4厘5毛を1銭4厘へ)
- 21日 ○政府、日華貿易計画に関する書簡に調印
- 22日 ○総選挙実施
- 24日 ○本行、米ドル表示外国為替引当貸付の利率引下げ (日歩4厘を3厘へ)
- 28日 ○為替銀行、米ドル・ユーザンス金利引下げ (年利4%以上を3.75%以上へ)
- 29日 ○政府、為替銀行に対する大蔵大臣名義英ポンド外貨預金の金利を引下げ (年利4%を3.5%へ)
- 31日 ○本行、英ポンド表示外国為替引当貸付の利率を引下げ (日歩1銭3厘5毛を1銭3厘へ)

## 【海外】

- 1日 ○ソ連、労働時間を短縮 (重工業7、地下作業6時間)
- 2日 ○スウェーデン中央銀行、公定歩合を5%から4½%へ引下げ、3日から実施  
○韓国総選挙実施
- 5日 ○ロンドンのバス労組、ストライキに突入
- 9日 ○ダラス連銀、公定歩合を2¼%から1¾%へ引下げ  
○中共陳毅副首相日本政府を非難、日中貿易断絶
- 12日 ○レバノンに暴動発生
- 13日 ○アルジェリアに公共治安委成立
- 14日 ○フランス、フリムラン内閣成立
- 15日 ○フルシチョフ・ナセル共同声明
- 19日 ○豪州連邦準備銀行、商業銀行の特別勘定 (15百万豪ポンド) を解除
- 19日 ○アラブ連邦ヌリ・サイド内閣成立
- 20日 ○東欧経済相互援助会議開催 (23日まで)
- 21日 ○本年度日台貿易計画 (片道85百万ドル) 調印
- 22日 ○英蘭銀行、公定歩合を6%から5.5%へ引下げ
- 22日 ○オランダ銀行、支払準備率を6%から7%へ引上げ
- 24日 ○ワルシャワ条約加盟国政治諮問委員会会議モスクワで開催
- 27日 ○米関税委員会、日本洋ガサ骨の輸入に関する公聴会を開会  
○セイロン、公用語をめぐる騒動から非常事態宣言
- 28日 ○フランス、フリムラン内閣辞表提出  
○タイ、本年度予算国会へ提出